

JAL グランドサービス九州における健康経営の取り組み状況

当社では、JAL グループ健康推進計画 JAL Wellness2025 の「生活習慣病」「がん」「メンタルヘルス」「たばこ対策」「女性の健康」の5つの重点項目を中心に社員・会社・健康保険組合が一体となって社員とその家族の健康づくりに取り組んでいます。

1. 健康課題

当社は、健康保険組合から毎年提供される「Wellness レポート」の結果を踏まえ、当社として特に対策が必要な重点課題を以下に定め、取り組むこととしています。

- (1) 3大生活習慣病（がん・心疾患・脳血管障害）の主な要因となる「肥満」「喫煙」「血压」「血糖」リスク者の割合が JAL グループ他社と比べて高くなっている（生活習慣病、がん）
- (2) ストレスチェック実施率の向上と高ストレス者割合の低下（メンタルヘルス）
- (3) 男女ともに喫煙率が目標を大きく下回り、JAL グループ平均値と比較しても突出して高い（たばこ対策）
- (4) 女性社員が多く活躍するようになったものの、婦人科健診の受診が低い（女性の健康）

2. 2021 年度の主な取り組み内容

(1) JAL Wellness の5つの重点項目に対する取り組み

「生活習慣病」「がん」

- ① 「脂肪を燃やす食事」を学ぶ研修の実施（2021年2月：参加313名 e-learning 開催）
- ② 健康リテラシー向上を目的とした Wellness 研修の実施（2022年7月：参加274名 Zoom 開催）
- ③ 空港内移動時の自転車の活用
- ④ 海岸でのゴミ拾いウォーキングイベントの開催（2021年10月：参加69名 11月：参加62名）

「メンタルヘルス」

- ① ストレスチェックの実施（FY20：86.6% FY21：88.0%）
- ② 高ストレス者割合の低下を目的に対象者任意の元、産業医との面接を実施

「たばこ対策」

- ① 就業時間内禁煙の継続（2018年5月31日～）
- ② 終日禁煙「スワンスワンの日（毎月22日）」の導入（2021年4月～）
- ③ 共済会による「禁煙外来」の自己負担額の費用補助を継続（2020年10月～）
- ④ 禁煙へ取り組む社員の応援キャンペーン実施、期間限定で禁煙外来申し込み費用を共済会で全額補助
(2021年10月～2022年11月：参加13名)

「女性の健康」

- ① 共済会による「婦人科健診」の自己負担額の費用補助を継続（2020年10月～）
- ② JGS 健康相談室 保健師による乳がん・子宮がん予防セミナー（2021年6月実施）

(2) Wellness 活動を通じた意識改善と行動変容を推進する取り組み

- ① Wellness ミーティングの開催（2021年度：8回実施）
- ② 健康情報を記載した Wellness 通信 2021 を発行（2021年度：5回発行）
- ③ 「本気の！JGS 体操コンテスト」を開催（2022年2月：参加252名 Zoom 開催）

(3) 社員の健康をサポートする取り組みの強化

- ① 定期健康診断受診率（目標値：100%）春季・秋季受診率：100%
- ② 産業医による健康相談とフォローアップ健診（二次健診）を強化
- ③ 健康管理の重要性に関する意識向上教育の実施（2021年10月：参加305名 e-learning 開催）
- ④ 特定保健指導の実施率向上に向けて、対象社員へ参加勧奨の実施
- ⑤ 健康度チェックのため、健康習慣アンケートを実施（2022年2月：回答率94%）

(4) D&I（ダイバーシティ&インクルージョン）女性活躍の実現に向けた取り組みを通じて、より働きやすい職場環境の実現に対する取り組み

- ① D&I 通信を活用し、全社員へ活動に対する理解・浸透を図る（全社員にメール配信）
- ② D&I 教育への参加（2021年6～7月 受講：係長83名、10月 受講：班長・主任87名）

3. 2021年度の実績結果

(1) JAL Wellness 指標の結果

JAL Wellness 2025 5大指標		対象者	2020年 実績	2021年 実績	2025年最終 目標
生活習慣病	肥満率	全員（社員）	45.2%	32.5%	15%未満
	特定健診受診率	家族（40歳以上）※1	28.7%	27.1%	75%以上
	特定保健指導実施率※2	社員	17.4%	11.3%	65%以上
がん	胃がん検査受診率	社員（35歳以上）	46.9%	50.2%	70%以上
	大腸がん検査受診率	社員（35歳以上）	74.3%	70.8%	80%以上
メンタルヘルス	高ストレス者割合	社員	6.3%	9.9%	5%未満
たばこ対策	喫煙率	男性社員	47.6%	46.9%	20%未満
		女性社員	11.9%	17.9%	3%未満
女性の健康	乳がん検査受診率	社員（18歳以上）	46.3%	54.8%	70%以上
	子宮がん検査受診率	社員（18歳以上）	48.8%	59.5%	60%以上
	女性の痩せ	社員（34歳以下）	17.4%	14.3%	20%未満

JAL Wellness 2025 意識変容・行動変容に関する指標		2021年 実績	2025年 目標
健康リテラシー	e-learning 受講率	93.0%	80%以上
ライフスタイル (特定健診の問診)	運動習慣	52.9%	63%以上
	休養が取れる睡眠	68.5%	80%以上
	適度な食べる速度	64.6%	70%以上
	適度な飲酒習慣	80.3%	90%以上

※1 暫定値（2022年10月の国への報告で確定）

※2 2021年実績値は、2022年10月の国への報告で確定

(2) 健康・就業関連データ

健康経営の目的である「健康で活力あふれる社員が育まれることで、社員一人ひとりがパフォーマンスを最大限発揮できる環境整備と健康づくり」の実現に向けて、各施策の取組効果を可視化するため、上記の重点課題に加え、以下指標を測定しております。

健康・就業関連データ		2020年	2021年
定期健康診断受診率	休業・退職を除く受診率	100%	100%
ストレスチェック受検率	休職者を除く	86.6%	88.0%
アブゼンティーイズム	年間休業日数	※測定結果なし	5日
プレゼンティーイズム	生産性低下率	※測定結果なし	26%
ワークエンゲージメント	仕事満足度（4段階）	※測定結果なし	2.7
社員定着率	平均勤続年数	17.9年	17.9年
有給休暇取得率	総取得日数／新規付与日数	109.4%	98.0%
平均月間所定外労働時間	月平均（一人当たり）	1時間00分	1時間00分

※2021年度より測定開始、測定方法は以下のとおり

アブゼンティーイズム：健康習慣アンケートにて、過去1年以内に病気やケガなどの体調不良で仕事を休んだ日数

プレゼンティーイズム：東京大学一項目版（病気やケガがない時に発揮できる仕事の出来を100%として、過去4週間の自身の仕事を評価）を用いた健康習慣アンケートにより生産性低下率を把握

ワークエンゲージメント：新職業性ストレスチェックのワークエンゲージメントに関する設問（熱意・誇り/活力の2問）を用いた健康習慣アンケートを実施。
4つの選択肢（そうだ：4、まあそうだ：3、ややちがう：2、ちがう：1）について全回答結果の平均値をスコアとして採用

4. 取り組み結果の総評

JAL Wellness 指標のうち、婦人科健診の乳がん検査受診率（前年比 8.5%改善）および子宮がん検査受診率（前年比 10.7%改善）については、前年比 8%以上の改善となり、たばこ対策も男性喫煙率では、前年比 0.7%改善となりました。実施施策との関連では、共済会による婦人科健診や禁煙外来の費用補助実施等の取り組みにより、婦人科健診の受診促進や男性社員の喫煙率減少につながったと考えています。

メンタルヘルスにおいては、全部門長を対象にストレスチェック組織分析結果のフィードバックを実施しています。その結果、ストレスチェック制度の目的や組織分析結果の活用に関する理解が深められ、ストレスチェックの実施率は前年比 1.4%と上昇しました。

高ストレス者に対しては、対象者任意の元、産業医との面接を実施しましたが、残念ながら高ストレス者割合が前年比 3.6%増加する結果となりました。2022年度においては、従来の施策に加え、e-learning を活用したメンタルヘルス教育等を実施することにより、高ストレス者割合の改善を図りたいと考えております。

健康経営目標に掲げる D&I（ダイバーシティ&インクルージョン）の実現に向けて、女性活躍を推進するため全社員宛に D&I 通信の送付や職制を対象とした D&I 教育を実施しました。結果として、女性活躍に向けた意識が醸成され、働きやすい職場環境の実現につなげることができたと考えております。

以上